

関東技術事務所 様式4の書き方のポイントについて

様式4の作成にあたり、関東技術事務所では申請資料作成マニュアル(pdf)をダウンロード出来るように整備しています。
より簡潔に分かり易く記述して頂くために、この書き方のポイントを申請資料作成マニュアルと一緒にご活用下さい。

比較表(様式4)の目的

発注者が活用等を検討する際に、従来技術や既存のNETIS技術と比較検討するための参考資料とし、「経済性」、「工程・工期」、「品質・出来型」、「現場条件」、「設計条件」、「安全性」、「施工性」、「環境」等を対比した比較表です。各評価項目及び総合評価について自己評価を行いその結果を記入して下さい。

この様式に記載された事項は新技術活用評価会議及び国土交通省職員の参考資料として使用されます(外部への公表は行いません)

(注) 従来技術との比較に加え、既存のNETIS登録技術との比較も行ってください。また必要に応じて評価項目を追加してください。

様式1, 2, 3(申請マニュアル P6, P19, P25)で記述したものと同一とする。

様式2, 3(申請マニュアル P6, P10, P19)で記述したものと同一とする。

技術名	新技術 ○○○工法	従来技術 ×××工法	既存のNETIS登録技術 ◇◆◇工法	既存のNETIS登録技術 △▲▽機工法	既存のNETIS登録技術 ○○○工法
工法概要	○○を用いた△△をする □□工法である。				
概略図					
経済性	48,000円/100㎡ (12.7%向上)	55,000円/100㎡	△△△円/100㎡ (△△%向上)		
評価	◎	-	○		
工程・工期	0.5日/100㎡ (○○%短縮)	1日/100㎡	□□日/100㎡ (□□%短縮)		
評価	◎	-	○		
品質・出来型	JIS○○○を使用 厚 ±○○mm	JIS○○○を使用 厚 ±○○mm	JIS○○○を使用 厚 ±○○mm		
評価	△	-	△		
現場条件	○m×○mの施工ヤード があれば施工可能。	○m×○m以上の施工ヤード が必要である。	○m×○mの施工ヤード が必要である。		
評価	○	-	△		
設計条件	設計時に○○の確認が必要。	設計時に○○の確認が必要。	設計時に△△であるか確認が必要。		
評価	△	-	△		
安全性	△△がないこと。	△△がないこと。	△△がないこと。		
評価	△	-	△		
施工性	□□が省力化する	□□が省力化する	□□が省力化する		
評価	△	-	△		
環境	▽▽の削減が図れる	▽▽の削減が図れる	▽▽の削減が図れる		
評価	△	-	-		
その他 (備考等)	-	-	-		
評価	-	-	-		
NETIS番号	-	-	☆☆☆☆☆☆		
備考	-	-	-		
総合評価	◎	-	○		

NETIS上にある既存のNETIS技術及び、載っていないが知っている類似の技術について、挙げて下さい。(以降、いくつあっても構いません)

従来技術と新技術を比較

従来技術と既存のNETIS技術を比較

【注意事項】

ここに記入する内容は、様式2、様式3に記載した内容を記入します。

1. 従来技術を基準とし新技術、既存のNETIS登録技術を同一の視点で比較して下さい。よって、従来技術の評価は全て「-」となります。
2. 様式4は、エクセル(拡張子xls)、印刷設定A4横、ファイルサイズ500KB以下で作成して下さい。

様式4の各項目について

技術名：○○○工法		工法概要
新技術 ○○○工法		工法概要 ○○を用いた△△をする □□工法である。
工法概要		概要図 技術の概要が確認でき、視覚的に特徴がつかみやすい写真や画、またはフローなどを 入れて下さい。既存のNETIS技術で資料の無い場合は、blankで構いません。
概要図		経済性 様式2、3で記述した内容(○○円/□㎡(△△%向上))に合わせて、定量的に記入し て下さい。特にコストタイプ番号がAまたはDの技術の場合は、イニシャルコスト、ランニ ングコスト、トータルコストを3段書きにさせていただくと分かり易いと思います。
経済性	48,000円/100㎡ (12.7%向上)	工程・工期 様式2、3で記述した内容(○○日/□㎡(△△%短縮))に合わせて、定量的に記入し て下さい。
評価	◎	品質・出来型・現場条件・設計条件・安全性・施工性・環境 様式2・3で記述した内容をそのまま記入して下さい。なお、その他(自由設定)は、様 式2・3で項目立てした内容があれば記述して下さい。
工程・工期	0.5日/100㎡ (○○%短縮)	
品質・出来型	JIS○○○を使用 厚さ○○mm	
評価	△	
現場条件	Om×Omの施工ヤード があれば施工可能。	
評価	○	
設計条件	設計時に○○の確認が必要。	
評価	△	
安全性	△△がないこと。	
評価	△	
施工性	□□が省力化する	NETIS番号 NETIS上にある既存のNETIS技術場合、NETISに掲載されたNETIS番号を記入して 下さい。
評価	△	
環境	▽▽の削減が図れる	
評価	△	備考 特筆すべきことがある場合などに、記入して下さい。 特に何もなければ、「-」を記入して下さい。
その他 (自由設定)	-	
評価	-	
NETIS番号	-	
備考	-	
総合評価	◎	

評価について

新技術、既存のNETIS技術と従来技術を同一の視点で比較した結果を、著しく向上：◎、向上：○、同等：△、低下：×、で表現して下さい。

※新技術の評価については、様式2：キーワード、開発目標、活用の効果、様式3：④従来技術との比較(結果)と整合を図って下さい。

※既存のNETIS技術は、新技術・従来技術と同じ内容について記載できず、「-」を記入された場合は、評価も「-」を記入して下さい。

【注意事項】

ここに記入する内容は、様式2、様式3で記載した内容を記入します。

1. 様式2、3で記載した内容については、最低限記入して下さい。
※新技術と従来技術の比較した項目
2. 対象とならない項目は、「-」を記入して下さい。
3. NETIS登録技術を既存のNETIS技術として記載される際は、NETIS情報で掲載されている内容をそのまま記載して下さい。
4. 項目の対する記述欄にコメントがないのに、評価だけ入れるような事のないようにお願いします。
5. 初めから様式にある項目は変更・削除しないで下さい。
6. 概略図の大きさを調整して下さい。(大まかな概略が分かる程度であれば文字等が見ずらくても構いません)